

「とちぎの元気な森」を次の世代に引き継ぐために

とちぎの元気な森づくりNEWS

vol.30



写真：里山林で遊ぶ
（那珂川町小砂）
—地域で育み未来につなぐ里山林整備事業—

▼特集

- ①企業等との協働による森づくり活動
- ②「山の日」をつくろう栃木県連絡協議会の設立
- ③税事業評価委員会による現地調査

▼部会だより

普及・啓発部会、森づくり推進部会、木づかい推進部会の活動

発行元：とちぎの元気な森づくり県民会議
事務局：宇都宮市塙田1-1-20 栃木県環境森林政策課内
連絡先：(028)623-3294





企業等との協働による 森づくりを推進しています



県では、企業や団体の皆様から、社会貢献活動として費用や労力を提供していただき、健全な森づくりを進める「企業等の森づくり推進事業」を平成21年度から実施しています。

平成25年12月末現在、県内17箇所において森づくりが実施されています。

今回は、今年度から森づくり活動を実施された皆様の活動の様子を御紹介します。

(敬称は略させていただきます)

※詳細については県ホームページを御覧ください。

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/eco/shinrin/zenpan/1267006004414.html>

自然の森再生活動

FUJITSU



富士通(株)那須工場による植樹活動が4月20日に那須烏山市の八溝県民休養公園で実施されました。

社員と家族約40名が0.3haにコナラ、クヌギなど10種360本を植樹しました。

今後も平成29年度までの協定期間中、下刈を実施していきます。

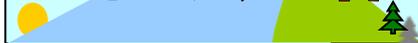


富士通株式会社那須工場

協定面積0.30ha



ハイビックの森



ハイビック(株)による植樹活動が6月1日、11月9日に矢板市の県民の森で実施されました。

両日とも、社員と家族、関係者約100名が、合わせて0.54haにイロハモミジ、コナラなど8種1,500本を植樹しました。

今後も平成29年度までの協定期間中、植樹や下刈を実施していきます。



ハイビック株式会社

協定面積0.67ha



チーム新木の森

住友大阪セメント株式会社

協定面積0.50ha

住友大阪セメント(株)による植樹活動が11月2日に佐野市の市有地で実施されました。

社員と家族、県立佐野松桜高等学校、関係者約160名が0.18haにヤマザクラなど17種約300本を植樹しました。

今後も平成30年度までの協定期間中、植樹や下刈を実施していきます。



栃木セブンの森

一般財団法人

セブン-イレブン記念財団

協定面積2.00ha

(一財)セブン-イレブン記念財団による植樹活動が11月9日に矢板市の市有林で実施されました。

財団職員、(株)セブン-イレブン・ジャパン社員、県内のセブン-イレブンのオーナー、家族、関係者約170名が1.0haにコナラなど6種3,000本を植樹しました。

今後も平成29年度までの協定期間中、植樹や下刈を実施していきます。



株式会社ブリヂストン

協定面積3.00ha

(株)ブリヂストンによる森林整備活動が11月30日に那須塩原市の市有林で実施されました。

社員約30名が枯れ枝等の集積や周辺道路の落葉掃きを行いました。

今後も平成29年度までの協定期間中、枯松・不要木の伐倒処理、植栽、下刈等の森づくりを実施していきます。



活動に参加した皆様からは「自分の植えた苗木が大きくなるのが楽しみ」「子供と一緒に毎年木を見に来たい」「森づくり体験ができて良かった」などの声をいただいています。森づくりをしていただける企業・団体の皆様からの御連絡をお待ちしています。

県地球温暖化対策課 TEL 028-623-3297



特集②

「山の日」をつくろう栃木県 連絡協議会が設立されました!

一 関係19団体の連携の下、

“6、7月が「山の日」にふさわしい”との意見がまとまりました 一



国民の祝日「山の日」制定に向け、全国規模の活動が始まった中、栃木県においても「山の日」制定に向けた機運醸成を図るため、県内の山岳、観光、経済、農林、マスコミ、行政等19団体が構成員となり、「山の日」をつくろう栃木県連絡協議会が11月29日に設立されました。

当日の設立総会では、福田富一知事出席のもと、栃木県山岳連盟会長の喜内敏夫氏を協議会の会長に選出したほか、「山の日」の時期に関する活発な意見交換も行われ、協議会として次の意見を採択しました。

“山々の雪解けが進み、木々が芽吹き、緑に山が映え、各地で山開きを迎える季節（6、7月）が最もふさわしい”

この意見を、全国「山の日」制定協議会や本県選出の国会議員宛てお知らせするとともに、御理解・御協力を求めていることとなりました。



喜内会長あいさつ



知事あいさつ

「山の日」ってなあに？

山はおいしい水を育み、豊かな自然がたくさんあります。また、林業・観光・伝統文化など、国民にたくさんの恵みをもたらしてくれるものです。

「山の日」は、国民全体が、こうした山の恵みに感謝し、山に親しみ、将来も守り育てていく意識の向上を促すために制定するものです。



日付はいつになるの？

具体的にはまだ決まっていますが、国会議員で作る『超党派「山の日」制定議員連盟』は、夏休みであり、お盆前でもあって家族そろって山へ行くことができる8月11日を提案しています。

また、山岳団体は以前から6月の第1日曜日を提案してきました。そして「山の日」をつくろう栃木県連絡協議会は山開きの時期である6、7月を提案しています。いろいろな提案がされ、国民の皆様が納得できる日付になるといいですね。

特集③

とちぎの元気な森づくり県民税 事業評価委員会（現地調査）

－ 里山林整備箇所、奥山林整備箇所等を調査 －

12月13日に、とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会の現地調査を実施しました。当日は県南地区（佐野市、栃木市、岩舟町）の税事業実施箇所を巡り、9名の評価委員が出席し、事業者等の話に熱心に耳を傾け、活発な質疑が行われました。本日の調査は、平成25年度の県民税事業の評価報告に反映されることになります。



調査地①

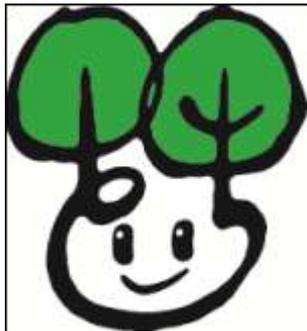
佐野市閑馬において、里山林整備で獣害対策のため、やぶの刈払い等を実施した箇所を調査しました。閑馬上区里山を守る会の星野祐治さんから、以前の獣害の状況や整備の内容について、説明していただきました。

山羊を放し、不要な雑草等を食べさせることも獣害対策に効果的とのことのお話もありました。



調査地②

栃木市出流において、奥山林整備で獣害対策のネット巻きを実施した箇所を調査しました。ネット巻きの効果の他、平成25年度から新たに導入したロープ巻きについても調査し、ロープ巻きの体験も行いました。



調査地③

岩舟町で森づくりの環境学習活動をしているNPO法人渡良瀬エコビレッジの町田理事長から、活動内容について、説明していただきました。





普及・啓発部会

リンク栃木ブレックスホームゲームで 森づくり県民税をPR!

— 鹿沼フォレストアリーナ (vsレバンガ北海道戦) で実施 —

とちぎの元気な森づくり県民税を広く県民の皆様にご覧いただくため、リンク栃木ブレックスに御協力いただき、11月24日(日)に鹿沼フォレストアリーナで行われたレバンガ北海道との試合において、PR活動を実施しました。

リンク栃木ブレックスは「BREX SMILE ACTION」という社会貢献活動を実施しており、その中で環境保全の取組も積極的に実施されています。

試合は、残念ながら80対89で敗れてしまいましたが、当日はブレックスを応援するため、2,000人以上もファンが集まり、子どもから大人まで幅広い周知活動を実施することができました。



整備箇所のパネル展示とパンフレット、エコバックなどの配布を行いました。

初出展ということで、リンク栃木の広報の方からの取材を受けました。



どの「とちもりくん」にしようかな?



入場開始とともに来場者がたくさん!!



10月16日は「元気な森づくりの日」!!

— 県内各地で「元気な森づくりの日」記念イベントを開催 —

県民の皆様には森づくりを身近に感じていただき、森づくり活動に様々な形で参加・協力いただけるよう、とちぎの元気な森づくり県民会議と栃木県では、10月16日を「元気な森づくりの日」に制定しています。

この「元気な森づくりの日」を記念して、とちぎの元気な森づくり県民会議では、エコ・もり地域推進協議会と連携し、森づくり体験等のイベントを各地で開催しました。

▼開催日：10月5日（土）

▼会 場：宇都宮市
栃木県子ども総合科学館



▼参加者
100名程度

▼内容
トールペイント

工夫して、楽しく描くことができました。



▼開催日：10月12日（土）

▼会 場：日光市
日光だいや川公園



▼参加者 35名

▼内容
奥山林見学
マイはし作り

森林の大切さを学びました。



▼開催日：10月20日（日）

▼会 場：高根沢町
元気あっぴむら



▼参加者 14名

▼内容
森林散策
バンダナ染色

実際に歩き、五感で体験することができました。



▼開催日：10月20日（日）

▼会 場：小山市
憩いの森 HACHIGATA



▼参加者 27名

▼内容
マイはし作り
竹とんぼ作り

竹とんぼ作りが楽しかったです。



参加者の皆様からは「森林を大切にしていきたい」、「木を大切に使いたい」、「親子で楽しめた」、「また参加したい」との声をいただき、活動を通じて元気な森づくりへの理解を深めていただきました。

今後も様々な機会を捉え、県民の皆様には森づくりへの理解を促す活動を実施して参ります。

女性のための木工教室を開催しました

— 平成25年12月8日(日) 宇都宮市冒険活動センターにて —

「子ども向けの木工教室はあるけど、大人向けの木工教室がない・・・」「木工って面白そうだけど私にもできるのかしら？」そんな皆様の声にお応えして、女性のための木工教室を実施しました。

当日は、県内で産出されたスギを使った「飾り棚」を40セット用意し、参加者に木工工作を楽しんでいただきました。

また、木づかい推進活動の一環として、今回初めて、クヌギの木炭（菊花炭）を用意し、ご家庭にお持ち帰りいただきました。木炭は、燃料としてお使いいただけるほか、玄関やお部屋の消臭にも使用できます。

参加者の約半数が木工工作未経験でしたが、「木の素晴らしさ」や「森林のはたらき」を学びながら、全員が無事作品を完成することができました。



○木材アドバイザー前澤長一先生による「木の素晴らしさ」、「森林のはたらき」の講義



○実際にのこぎりやげんのうなどの道具を使って、飾り棚を製作しました。



○木づかいスタッフにも、お手伝いいただきました。



○完成した「飾り棚」と木炭（菊花炭）
県内で産出された木材（スギ・クヌギ）
できています。